

取り組みを
マニフェスト型に!!

「マニフェスト」のポイント

1. 聞く人にとって 2. 具体的で 3. わかりやすい

7要素(5W1H+予算)

Why (なぜ・目的)

- ・目標の確認(数値目標等)

When (いつまでに)

- ・「期限」をイメージ(目標達成のための)

Where (どこで)

Who (だれが)

- ・各主体間の連携も視野に

What (なにを)

How (どうする・どのくらい)

- ・手順を分解し作業レベルで具体的に誰が何をするのかをイメージできるように
- ・時間軸で整理するとよい
- ・数値目標を設定してみる

予算(いくらで・財源)

- ・お金がいくらかかるか
- ・資金の調達はどうか

考える順番

最終目標を設定する

を実現するために、必要なことを7要素に分けて考える。(最終年度)

本来は、最終年度を考えた後、各年度に必要なことを書き出すが、今回は最終年度のみ。

目標を実現する過程で出る課題も考えて(拾い上げて)おく。

考え方イメージ

最終目標を「全学校 30 人学級実現」とした場合

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
目標(数値目標)					市内全小学校10校全てで実施 100%
Why(なぜ・なんのために)					目の行き届いた教育の実現
When(いつまでに)					27年度当初まで
Where(どこで)					市内全小学校
Who(誰が)					県教委 市教委 小学校
What(何を)					全クラス30人学級にする
How(どうする・どのくらい)					24年度にモデル校2校で実施。段階的に増やしていき、27年度では全校で実施にする
予算(いくらで・財源)					担任数 2人×6年 = 12人増 12人×6,000千円(年収) = 72,000千円×10校 = 720,000千円 財源: 県費